

児童発達支援事業所における自己評価結果(公)

討議年月日:令和 5 年 5 月 25 日

公表:令和 5 年 6 月 6 日

事業所名 キッズサポートてんぱく

|          | チェック項目  | はい | いいえ | 工夫している点   | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標                  |
|----------|---|----|-----|---|---|
| 環境・体制整備  | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である   | ○  |     | 集中できる環境となるよう導線含め環境設定に配慮しています。                             | 今後も状況に合わせて環境調整を行っていきます                    |
|          | 2 職員の配置数は適切である  | ○  |     | 子ども達への支援に無理のない配置にしています。                                   | 今後も継続していきます。                              |
|          | 3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている  |    | ○   | 子どもたちが過ごす場所はバリアフリーになるよう環境調整しています。                         | 大きな改修こうじが必要となるため、費用面などを鑑み検討していきます。        |
|          | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている   | ○  |     | 毎日清掃・消毒を行うとともに、パーソナルスペースを十分に確保できるようになっています。               | 引き続き対応していきます。                             |
| 業務改善     | 5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している   | ○  |     | 全員が周知できるよう対応しています   | 今後も継続していきます。                              |
|          | 6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている   | ○  |     | 保護者の意見を真摯に受けとめ業務の改善を行っています。                               | 引き続き対応していきます。                             |
|          | 7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している                                    |    | ○   | 現在は開所したばかりでできていませんが今後は公開していく予定です。                         | 現在は開所したばかりでできていませんが今後は公開していく予定です。         |
|          | 8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている  |    | ○   | 現在検討中です。  | 現在検討中です。                                  |
|          | 9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している   | ○  |     | 全職員が周知できる形で研修を行っています。                                     | 職員の経験値に合わせた内容で研修を進めていけるような仕組みづくりが今後の課題です。 |
| 適切な支援の提供 | 10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している   | ○  |     | 聞き取りを行う際に、保護者が子どもの行動や言動について考えることができるような聞き取り方をしています。       | 引き続き対応していきます。                             |
|          | 11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している   | ○  |     | 誰が聞き取っても同じ内容になるようなアセスメントシートを作成しています。                      | 状況に合わせその都度、改善が必要であるかを検討しています。             |
|          | 12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | ○  |     | 保護者が支援内容について理解しやすいよう、表現の仕方に気をつけながら具体的な内容を提示するようにしています。    | 引き続き対応していきます。                             |
|          | 13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている  | ○  |     | 支援計画の内容と共にその時に必要な支援を行っています。                               | 引き続き対応していきます。                             |
|          | 14 活動プログラムの立案をチームで行っている   | ○  |     | 必ず全員が参加する会議にて決める  | 引き続き対応していきます。                             |
|          | 15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している   | ○  |     | 子どもたちが様々な経験ができるように工夫しています。                                | 引き続き対応していきます。                             |
|          | 16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している  | ○  |     | 集団と個別で得られるものや、学ばせたいものが異なるので、ねらいをしっかりと共有できるようにしています。       | 送迎の時間等で個別支援が難しい日の調整が課題で                   |
|          | 17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している   | ○  |     | 時間短縮のため担当者が事前に内容を決めておくようにしている。                            | 引き続き対応していきます。                             |
|          | 18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している  | ○  |     | 残業になるのを防ぐため、優先度の高い順で報告を行うようにしています。優先度の低いものは翌日の打ち合わせで行います。 | 引き続き対応していきます。                             |
|          | 19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている   | ○  |     | 記録を取ることで、支援に対する評価が行えるようにしています。                            | 記録の取り方が統一していけるようになることが目標です。               |
|          | 20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している  | ○  |     | モニタリングを行うことで保護者の相談に個別で対応していけるようにしています。                    | 引き続き対応していきます。                             |
|          | 21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している  | ○  |     | 児童発達支援管理責任者が参加しています。                                      | 引き続き対応していきます。                             |
|          | 22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている  | ○  |     | 必要がある場合に連携を取るようになっています。                                   | 今後はもう少し連携を強めていけるとよいと思います。                 |
|          | 23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている   |    | ○   | 該当児童なし  | 該当児童なし                                    |

|              |    |  |   |   |  |
|--------------|----|--|---|---|--|
| 関係機関や保護者との連携 | 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている                                    | ○ | 該当児童なし  | 該当児童なし   |
|              | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている  | ○ | 移行に必要な情報を保護者と園が共通認識できるような形にしています。                           | 引き続き対応していきます。  |
|              | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている  | ○ | 移行に必要な情報を保護者と学校が共通認識できるような形にしています。                          | 引き続き対応していきます。  |
|              | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている   | ○ | コロナ禍で機会がなかったのですが今後は連携していきたい。                                | 連携を図ることでより良い支援に繋がられるような道筋を作っていきたい。                   |
|              | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある   | ○ | コロナ禍で機会がなかった。   | 子どもの障害の特性を考慮した上で無理ない範囲で進めていきたい。                      |
|              | 29 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している  | ○ | コロナ禍で機会がなかった。   | 今後は積極的に参加していきたい。                                     |
|              | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている   | ○ | 連絡ノートでもこまめに伝えているが、なにか緊急な連絡事項があればLINEや電話などでも対応している。          | 引き続き対応していきます。  |
| 保護者への説明責任等   | 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている   | ○ | 個別の相談には対応しているが、トレーニングという名目では行っていない。                         | 仕事をしている保護者も多くトレーニングが負担になることもあるので、状況を考慮しながら取り入れていきたい。 |
|              | 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている   | ○ | 契約時に必ず行っています。   | 引き続き対応していきます。  |
|              | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | ○ | 内容を説明する際には、どのような課題に対しどのような支援が必要かを理解いただいた上で同意していただくようにしています。 | 引き続き対応していきます。  |
|              | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている  | ○ | 保護者が見通しをもちやすいような助言ができるよう心がけています。                            | 引き続き対応していきます。  |
|              | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している   | ○ | 保護者のみでは話しにくい様子も見られるので子どもと一緒に参加できるような形にしています。                | 引き続き対応していきます。  |
|              | 36 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している                           | ○ |   |  |
|              | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している   | ○ | SNSで発信しています。  | SNSに写真を上げられない利用者もいるので、違う形でも発信できるようにしていきたい。           |
|              | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意している  | ○ | 全職員で周知しています。  |  |
|              | 39 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている   | ○ | 視覚支援を行うなどわかりやすい方法で情報を提供できるようにしています。                         |  |
|              | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている   | ○ | コロナ禍で実施が困難でした。  | 実施の方法を考え、無理なくできるようであれば実施したいと思います。                    |

|         |    |  |   |  |  |  |
|---------|----|--|---|--|--|--|
| 非常時等の対応 | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している        | ○ |  | マニュアルを作成し、職員間で役割等含め周知しています。                | 書面で通知していますが、確実に伝わっているかは不明な部分もあるので、保護者への周知の徹底が目標です。 |
|         | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている   | ○ |  | 月1回避難訓練を行うことで意識づけられるようにしています。              | 様々な場面が想定した避難訓練ができることが目標です。                         |
|         | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している  | ○ |  | 事前に確認を取り、服薬に関しては成分表を預かります。                 | 引き続き対応していきます。                                      |
|         | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている                                       | ○ |  | 除去がある場合には血液検査結果と共に指示書を提出してもらっています。         | 引き続き対応していきます。                                      |
|         | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している  | ○ |  | 全職員で周知できるよう全員出席できる会議で確認しています。              | 引き続き対応していきます。                                      |
|         | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている   | ○ |  | 全職員で周知できるよう全員出席できる会議で確認しています。              | 引き続き対応していきます。                                      |
|         | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | ○ |  | 身体拘束に関しての知識は周知済み。支援計画に入れるような児童は現在在籍していません。 | 今後そのような事態が想定される場合は、支援計画に記載していきます。                  |

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。